

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 看護師不在と協力医が夜間、休祭日の対応が困難な事もあり、看取りの経験はない。今後、利用者、家族のニーズに応える意向はあるが検討に至っていない。	利用者、家族に今後看取りの意向を確認し希望があれば法人の看護職や上司、医療機関と連携をとっていく。	グループホームでどのような事ができるのか等、職員の部内研修を行い看取りについての知識を深める。	6ヶ月
2	16	○災害対策 居室が2階で中階段に観葉植物やボード等があったり、鍵の設置場所等が簡易的である為、有事に備え、今一度、安全でスムーズな避難誘導について検討する。	スムーズに避難できるようマニュアルを見直す。	・鍵の袋カバーを作る。 ・オリジナルのマニュアルを作成する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。